

令和5年度普及指導計画プロジェクト課題概要

令和5年2月3日 石巻農業改良普及センター

課題名	計画期間	対象(地域等)	概要
1 長面地域における大規模経営体の持続的な水田農業の実現 (継続課題) 「地域計画」 「アグリテック」 「みどりの食料システム戦略」 関連課題	令和4年度～令和5年度	(株)宮城リスタ大川 (石巻市) (農みのり (石巻市) (株)ゆいっこ (石巻市)	【背景】 <ul style="list-style-type: none"> 対象地域の水田は、東日本大震災の津波により甚大な被害を受けた。 令和3年度に全ての水田が復旧し、作付けが再開された。 復旧農地は地力が低い状態にあり、水稲単収が低いことが経営全体へ大きな影響を与えている。 令和3年産米生産者概算金の大幅な下落により、対象法人の経営に与える影響は大きく、主食用米、飼料用米、WC S用稲の収量向上が不可欠となっている。 作期や労働力の分散、低コスト化への取組も必要であり、乾田直播栽培等の省力化技術の導入が求められている。 【これまでの活動・成果・今後の改善等】 <ul style="list-style-type: none"> 飼料用米について、①移植栽培で施肥条件を変えて、速効性・緩効性肥料、堆肥の組み合わせが、収量性、コスト及び土づくりの面で最適、②前作大豆・水稲での乾田直播栽培で肥料コストの削減効果を確認、①は、速効性肥料を安価なBB肥料に変更、②は年次変動を確認 飼料用米・WC S用稲導入効果の検証のため、堆肥投入状況、栽培環境と課題、収量性とコスト、契約状況等の現状について聞き取り。JAいしのまきと連携し、経営安定化、営農計画の作成を支援。 【活動事項】 <ul style="list-style-type: none"> 飼料用米の栽培技術向上支援 飼料用米乾田直播栽培の導入支援及び効果の検証 飼料用米・WC S用稲を導入した農業経営の確立に向けた支援 【数値目標等】 <ul style="list-style-type: none"> 飼料用米平均単収：500 kg/10a (R5年度) 現況値：538kg/10a (R4年度)



(株)宮城リスタ大川の若手従業員に対する稲作勉強会



実証までの現地検討会

2 産地を形成する多様な担い手のステップアップによるいちごの産出額向上 (継続課題) 「園芸振興」 「アグリテック」 関連課題	令和4年度～令和6年度	JAいしのまき共販部会 石巻苺生産組合 (16戸) 河南いちご生産組合 (13戸) やもといちご生産組合 (7戸) (株)いちごランド石巻 (石巻市) (株)アグリ・パレット (石巻市) (株)トライバルファーム (石巻市) (株)黄金ファーム (石巻市) (株)イグナルファーム(東松島市) (株)サンエイト (東松島市) (株)アソラ (東松島市)	【背景】 <ul style="list-style-type: none"> 石巻地域のいちご生産は、互理地域に次ぎ県内第二の産地となっている。 近年、高齢化により栽培者数・面積が減少、これに伴い販売額も減少傾向にあるが、需要が底堅い品目で単価も比較的安定している。 環境測定機器の導入等、新たな取り組みの動きがあり、栽培技術の向上により収量、販売額の増加が期待できる。 農業法人による先端技術を用いた栽培が行われている。 いちごを新規品目として取り入れる農業法人の動きがある。 【これまでの活動・成果・今後の改善等】 <ul style="list-style-type: none"> JA共販部会：新たに12戸が環境制御機器を導入。新技術の普及により収量は対前年比5%向上 各農業法人：改善点を確認し、R5産栽培から課題解決に向けた取組を開始 補助事業等を活用し、養液栽培を開始した法人1、新規栽培開始法人1となった。 【活動事項】 <ul style="list-style-type: none"> JA部会への技術改善と環境制御など新しい技術向上に向けた支援 各法人の課題改善による収益向上への取組支援 新規参入者への技術向上・安定支援 【数値目標等】 <ul style="list-style-type: none"> いちご販売金額：81.1千万円 (R5) 実績値：79.5千万円(目標：76.3千万円) (R4)
---	-------------	--	---



(株)イグナルファームでの栽培管理勉強会



やもといちご生産組合での現地検討会

課題名	計画期間	対象(地域等)	概要
3 地域のモデルとなる園芸法人の育成強化 (継続課題) 「園芸振興」 「アグリテック」 関連課題	令和4年度～令和5年度	(有)サントマト石巻 (石巻市) (株)DannyFarm (石巻市) (株)絆絆ファーマーズ(東松島市)	【背景】 <ul style="list-style-type: none"> 石巻地域は古くから園芸栽培が盛んな地域 東日本大震災後、新たに施設整備等を行い農業法人を設立し園芸に取り組む事例が多い地域となっている。 課題対象の3法人は、県の事業を活用して新規にハウスの設置や複合環境制御装置を導入している法人となっている。 各法人とも、新たな品目や新規導入機器の有効活用について、導入から間もないことから、栽培管理が安定するまで技術的支援や導入機器の活用法、経営安定化支援等のサポートが必要となっている。 【これまでの活動・成果・今後の改善等】 <ul style="list-style-type: none"> 病害虫対策とハウス内温度管理が課題、リアルタイム診断による栽培管理改善を行う。[(有)サントマト石巻] 環境制御機器を生かした養液施肥管理、仕立て方改善、露地野菜(ねぎ)部門の拡大による収益性改善[(株)DannyFarm] 周年栽培に伴う栽培技術改善(病害虫・かん水)による安定生産支援[(株)絆絆ファーマーズ] 【活動事項】 <ul style="list-style-type: none"> 大規模施設トマトの栽培管理・環境管理技術の高度化支援 施設なすの栽培技術向上支援 ほうれんそう周年栽培の生産管理技術支援 農業経営改善支援 【数値目標等】 <ul style="list-style-type: none"> 出荷量：基準年比110% (R5年度) 基準年：(有)サントマト石巻 大玉トマト 11t/10a(R2年度) (株)DannyFarm 施設なす 4.5t/10a(R3年度) (株)絆絆ファーマーズ ほうれんそう等 0.9t/10a (R3年8月～12月実績)



土壌分析結果に基づくほうれん草の栽培指導



先進農家(古川)へのなす栽培の視察

4 小ねぎ産地における次世代の人材育成 (新規課題) 「園芸振興」 関連課題	令和5年度～令和7年度	JAいしのまき スリムねぎ部会青年部	【背景】 <ul style="list-style-type: none"> JAいしのまきスリムねぎ部会は28人で生産活動に取り組んでいるが、高齢化の進行や販売単価の低迷等により、生産意欲の低下がみられている。 部会青年部は11人(50代以下の生産者で、本人名義出荷7人、親名義出荷4人)。青年部員が部会の主要な役割(部会長等)を担っていることから、部会の活動方針等については青年部員の関与が大きくなっている。 青年部員は、各々が課題を抱えているが、販路の拡大や共同選別の取組など部会の方向性について前向きに考えている者もみられる。 青年部員における栽培技術水準はばらつきがあり、栽培技術の底上げが求められている。 10年後の地域農業の担い手として、次世代を担う青年部員が他品目産地や異業種との交流を通して、課題解決への意識を醸成し、生産意欲を向上させることは、産地維持や地域農業の発展に必要不可欠である。 【活動事項】 <ul style="list-style-type: none"> 青年部における産地の課題把握・意識醸成支援 青年部員の個別課題分析・解決支援 栽培環境を主とした基礎的栽培技術指導 【数値目標等】 <ul style="list-style-type: none"> 出荷量がR4年実績よりも上回った青年部員数2人(R5年度)
---	-------------	-----------------------	--



スリムねぎ栽培研修会



スリムねぎの栽培状況

